

ワインの味 音楽と共に薫る

12月6日 ワインと音楽の夕べ



地元産のワインと音楽を楽しむ催しが明科公民館で開かれました。当日は参加した約30人が、天王原ワインと「明科いいまちつこうかい」の皆さんが朝から手作りしたおでんやクリームチーズ、から揚げなどの料理に舌鼓を打っていました。また、ピアノとバイオリンによる映画音楽やクラシックの演奏も行われ、会場は優雅な雰囲気に包まれていました。

義母と参加した辰巳めぐみさん(53・明科光)は「好きなナウシカメドレーが聞いて感動。ワインは飲みやすく料理も手作りおいしい」と話し、夜のひとときを満喫していました。

灯りが織りなす冬の幻想的な空間

11月29日～12月1日、12月6日～8日 安曇野神竹灯



約1万本の竹灯籠の灯りが穂高神社の境内を彩る「安曇野神竹灯」(実行委員会主催)が開かれました。午後4時から行われた点灯式では、ライター片手に多くの参加者が竹灯籠に火を付ける姿が見られました。また、神楽殿では日替わりのライブが、南神苑ではあづみ野てらす(クラフトや飲食の出店)が行われ、冬の夜を思い思いに楽しむ家族連れやカップルでにぎわいました。家族で訪れた宮林裕介さん(28・朝日村)は「神社と竹灯籠の灯りがマッチしていて幻想的。イルミネーションとはまた違った和の美しさを感じられる」と話し、光の世界を満喫していました。

笑顔で発表 同世代の活躍に触れる

11月23日 子ども文化祭



芸術・文化活動を行う子どもたちが日頃の活動の成果を発表する子ども文化祭が穂高交流学習センター「みらい」で開かれました。当日は、司会進行を子どもたちが務め、和太鼓やダンス、落語など6演目を8団体が発表。出番を待つ子どもたちの緊張感が伝わる会場内では、訪れた人たちから温かい拍手が送られていました。

日本舞踊を披露した安曇野市日本舞踊松風流子供教室の有賀凛香さん(14)は「十分な練習ができなかったけど、ステージの上では笑顔でできた。今後も勉強と両立しながら頑張りたい」と、発表後に安堵の笑顔を見せてくれました。

音楽と防災でさまざまな活動をPR

11月17日 吹奏楽と消防ラッパのコンサート



より多くの皆さんから消防団に親しみを持ってもらおうと、吹奏楽と消防ラッパのコンサート(市消防団主催)が豊科公民館ホールで開かれました。当日は、「ドラえもん」など子どもが楽しめる曲も演奏され、ラッパと吹奏楽の奏でる音色がホールに響きわたりました。また、コンサート前には駐車場で消防団PRイベントも行われ、消火器体験やポンプ車が親子連れに人気を集めていました。

ARゴーグルで浸水体験をした曾根原佳汰くん(5)は「おうちの中に水がきたら困ってしまう。体験できておもしろかった」と話してくれました。

30秒に安曇野の天蚕の魅力を含める 優秀賞を受賞!

12月1日 第24回ふるさとCM大賞 in NAGANO 最終審査会

県内の市町村を対象に、地域の魅力を手作りのCM作品に込める「第24回ふるさとCM大賞 in NAGANO」の最終審査会がホクト文化ホール(長野市)で開かれました。当日は県内43市町村から応募があった80作品の中から最終審査に進んだ20作品の審査が行われました。安曇野市からは昨年に引き続き応募した齋藤哲也さん(66・三郷温)の「安曇野 穂高天蚕糸」がノミネート。齋藤さんと地域おこし協力隊、安曇野市天蚕振興会の会員など7人が参加し、優秀賞(長野県市長会会長賞)を受賞しました。

作品上映後に行う「ちょい足しPRタイム」では、安曇野市天蚕振興会会長の田口忠志さんが天蚕の模型や天蚕糸の製品を使って魅力をPR。受賞を受けCM制作を行った齋藤さんは「天蚕センターに十数回足を運び、天蚕糸ができるまでの工程を取材し映像にした。最初触ることすらできなかった天蚕も作品が完成する頃には愛らしく思えるようになった。美しく貴重な天蚕糸の魅力を多くの人に知ってもらえたらうれしい」と、映像に込めた思いを話してくれました。

最終審査会の模様は、1月3日(金)午後4時から長野朝日放送で放映されます。



お医者さんと看護師さん! 本物さながらの体験

11月22日 アルプスこどもびょういん

園舎を病院に見立てた大型の「お医者さんごっこ」がアルプス認定こども園で開かれました。このイベントは県立こども病院が近く、保護者に医療従事者が多い環境を生かし、同園の保護者会が主催。当日は園児と保護者約80人が参加し、医療従事者の保護者が講師となり準備をした6ブースを順番に回りました。ブースでは、AEDを使って心臓マッサージをしたり、聴診器で心臓や呼吸の音を聞くなど本物さながらの体験を楽しみました。保護者会長で医師の大森教雄さんは「こども園のために何かできればと思い企画した。いざという時に少しでも思い出してもらえれば」と話し、熱心にAEDの使い方を教えていました。赤岩凧くん(4)は「心臓マッサージは忙しかった。AEDを覚えたから倒れている人がいたら助けたい」と話してくれました。

